パルコグループのビジネスフィールド

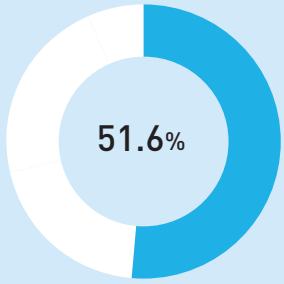
ショッピングセンター事業

株式会社パルコが担うグループの基幹事業。商業ディベロッパーとして小売業と不動産業のハイブリッド型ビジネスモデルを構築し、ビジネスを展開しています。

小売業では、改装による新陳代謝や宣伝・販促活動による集客、きめ細やかなテナントサポートにより、各テナントの売上高の向上を目指しています。一方、不動産業としては、ビルの開発・プランニングから保守管理まで、商業施設運営に必要なメニューをトータルプロデュースで提供しています。

PARCOの開発と運営を中心にしながら、ZERO GATE業態や新しいビジネスモデルとして新業態の開発などを推進しています。

営業収益構成比



※ セグメント間取引消去前の数値で計算しています。

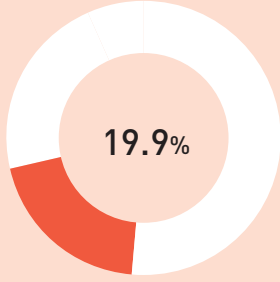
専門店事業

株式会社ヌーヴ・エイが担う専門店事業は、腕時計、眼鏡、化粧品、メンズ雑貨、ステーショナリーといった複数事業のセレクトショップの開発・運営をおこなっています。

「雑貨」を核としたユニークな専門店企業として、全国171店舗(2019年2月末日現在)およびオンラインショップを展開しています。また、オリジナル商品の拡充、新業態開発への取り組み、デジタル戦略加速によるオムニチャネル化の推進、マーケティング強化により、収益の拡大を目指しています。

(2019年2月末日現在 PARCO外店舗122店舗、PARCO外出店比率71.3%)

営業収益構成比



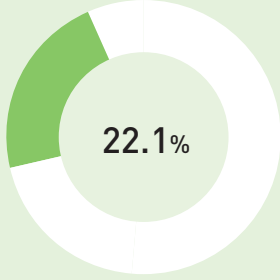
※ セグメント間取引消去前の数値で計算しています。

総合空間事業

株式会社パルコスペースシステムズが担う総合空間事業は、内装デザイン・ディスプレイ演出といった空間創造のスペースプロダクト事業から、施設の安全性・快適性を維持管理するビルマネジメント事業まで、空間のデザイン設計／施工／施設運営／施設管理といった、施設づくりのすべての段階に対応する総合的なサービス・ソリューションを提供しています。

ショッピングセンター、専門店、公共施設、大型シティホテル、医療施設、美術館など、利用者がデザイン性・快適性を求める施設において、PARCOで蓄積されたノウハウを活かし、取引先の資産価値の維持向上に貢献しています。

営業収益構成比



※ セグメント間取引消去前の数値で計算しています。

その他の事業

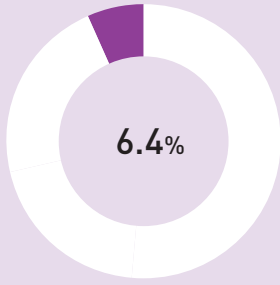
エンタテインメント事業

株式会社パルコが担うエンタテインメント事業は、魅力あふれるさまざまなコンテンツを、演劇、音楽、映画、出版の切り口からプロデュースしています。本事業を通じて、話題性の高い情報発信と付加価値の創造に取り組み、企業ブランドの向上に貢献しています。

デジタルマーケティング事業

株式会社パルコデジタルマーケティングが担うデジタルマーケティング事業は、商業施設向けICT活用支援を中核事業とし、パルコのICT活用を支えています。パルコのICT活用を通じて蓄えた技術力と運営力を、300を超える商業施設や専門店の店舗運営ソリューションとして提供しています。

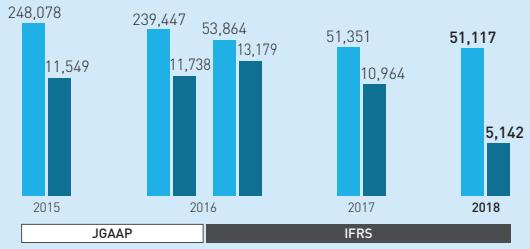
営業収益構成比



※ セグメント間取引消去前の数値で計算しています。

売上高／営業収益と営業利益※

(百万円)



※株式会社パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれています。

URL www.parco.co.jp

株式会社パルコ

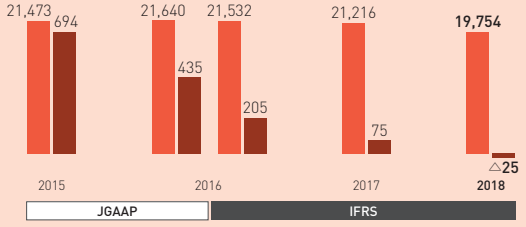
本部	東京都渋谷区神泉町8-16
設立	1953年2月13日
営業収益	562億88百万円
営業利益	47億92百万円
資本金	343億67百万円
従業員数	651名
店舗数(PARCO／ZERO GATE)	18店舗※1／10店舗

※1 建替えに伴う一時休業の渋谷PARCOを含んでいます。

詳しくは P. 38

売上高／営業収益と営業利益(損失)

(百万円)



URL www.neuve-a.com

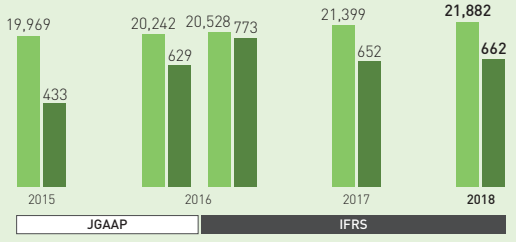
株式会社ヌーヴ・エイ

本社	東京都渋谷区神泉町8-16
設立	2001年6月1日
営業収益	197億54百万円
営業損失	25百万円
資本金	4億90百万円
従業員数	580名
店舗数	171店舗

詳しくは P. 40

売上高／営業収益と営業利益

(百万円)



URL www.parco-space.co.jp

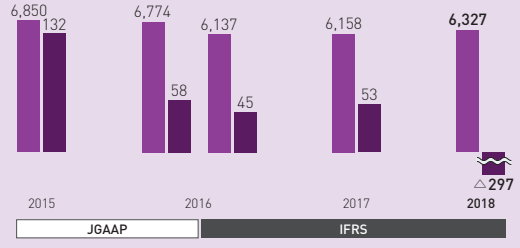
株式会社パルコスペースシステムズ

本社	東京都渋谷区神泉町8-16
設立	1969年4月1日
営業収益	218億82百万円
営業利益	6億62百万円
資本金	4億90百万円
従業員数	912名
営業所数	32営業所

詳しくは P. 41

売上高／営業収益と営業利益(損失)※

(百万円)



※株式会社パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれています。

URL www.parco-digital.co.jp

株式会社パルコデジタルマーケティング

本社	東京都渋谷区神泉町8-16
設立	2000年4月1日
営業収益	10億17百万円
営業利益	77百万円
資本金	10百万円
従業員数	60名

詳しくは P. 42

ショッピングセンター事業

営業収益：511億17百万円　営業利益：51億42百万円

株式会社パルコ

URL www.parco.co.jp

リスク
- 少子高齢化
- 競争環境の激化
- ECマーケットの拡大
- シェアリングエコノミーの拡大
- 消費税増税

機会
- 都市部の人口増
- 女性の社会進出増
- 価値観の多様化
- モノからコトへ
- インバウンド需要の変化
- キャッシュレス化

2018年度の成果

PARCO店舗事業では、2019年3月に開業した錦糸町PARCOをはじめ、11月に開業予定の渋谷PARCOなどの開発物件の準備を進めました。店舗政策では、「都心型店舗」「コミュニティ型店舗」の2類型でのストアブランド進化と確立に向け、消費者価値観や購買行動の変化への対応に向けテナント構成の再編やアイテムの拡充を図るとともに、新たなカルチャー発信拠点としてミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」を開業するなど、全店舗計約37,000m^{2}を改装し、改装ゾーンのパルコテナント取扱高前期比は116.2%と伸長しました。

動員企画では、野性爆弾くっきーによる展覧会『超くっきーランド neoneo』や人気俳優の写真展『竹内涼真写真展 unreleased -photo by Akinori Ito-』を開催したほか、『もうどく展』『におい展』『ざんねんないきもの展』など、地元テレビ局との連携イベントを強化し、各店舗への来店客数・取扱高増加に貢献しました。

顧客政策におけるICTの活用では、パルコ公式アプリ「POCKET PARCO」を大幅にリニューアルし、ショッピングの利便性を強化するとともに、公式通販サイト「カエルパルコ」を「PARCO ONLINE STORE」にリニューアルし、オンライン限定ショップを展開することで、実店舗とは異なった魅力を提案する取り組みを開始しました。

また、将来に向けた先行的取り組みとして、株式会社Psychic VR Lab、株式会社ロフトワークとの共同プロジェクトによるVR※コンテンツアワード『NEWVIEW AWARDS 2018』を開催し、ファッション・アート分野におけるVR技術活用方法の開拓や、次世代クリエイターの発掘・支援活動を推進しました。

※ VRとはVirtual Realityの略であり、コンピューターによって作られた仮想的な環境をあたかも現実のように体感できる技術です。

2019年度のテーマ

開業50周年の節目の2019年には、渋谷PARCO建替えを完了させ、営業を再開します。この渋谷PARCOをコアとして当社グループの持つコンテンツを連携し、リアルとデジタルが融合した次世代型商業施設を表現するとともに、新しいパルコストアブランドの魅力を提案していきます。また、進化するデジタル環境の変化に対応し、顧客にとっての買い物の楽しさや利便性などを捉えなおし、新たな消費テーマの開発とテナント導入を目指し、顧客起点でのビジネスモデルの変革を進めます。なお、PARCO各店については、顧客・マーケット視点で捉えなおし、都市型店舗※とコミュニティ型店舗※に再編します。

※ 内訳はP14からの「ショッピングセンター事業の店舗展開」をご覧ください。

2018年度の主な改装

都心型店舗

都市型ライフスタイルを享受する高感度な大人に向け、名古屋・池袋・広島PARCOではマーケット内初出店の人気コスメショップ、カップル消費に対応できるメンズ・レディス複合ショップを導入しました。また、各都心型店舗にてコト消費ニーズへの対応に向け、話題性のある食の専門店、レストラン・カフェやサービスを導入したほか、名古屋PARCOでは、フードホール業態を含む8店舗を増床開業するなど、新たな顧客層の拡大に貢献しました。

静岡PARCO 2階
レディス「グレースコンチネンタル」

名古屋PARCO 西館7階 レストランフロア
「PARCO RESTAURANTS & FOODHALL」

コミュニティ型店舗

地域密着型をテーマに、ひばりが丘PARCOでは上質なスーパーマーケットの導入、新所沢PARCOでは食品フロアをリニューアルし、マーケット内の幅広い客層に向け豊かな暮らしを彩るアイテムの提案をおこなったほか、吉祥寺PARCOにて新たにカルチャーの発信拠点として5つのスクリーンを持つミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」を開業し、館内での滞在時間をより楽しめるようなワンストップ型商業施設としての機能を拡充し、客層・客数の拡大を推進しました。

新所沢PARCO 地下1階
スーパーマーケット「キッチンランド」

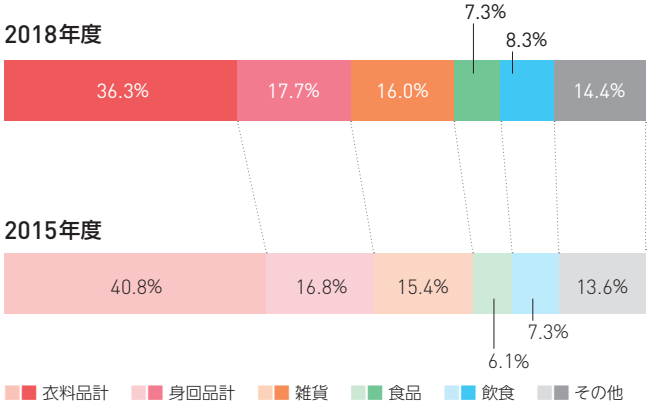
吉祥寺PARCO 地下2階　撮影：村田雄彦
ミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」

店舗データハイライト

営業面積：	401,000m² (100.8%)	
入館客数：	141,866千人(101.9%)	(既存店)
客単価前年度比：	95.2%	(既存店)

アイテム別売上高構成比

ライフスタイルの変化への対応をおこなうため、ファッションのみならず、身回品や雑貨、食への取り組みを強化。



店舗改装実績

消費者価値観や購買行動の変化への対応に向け、テナント構成の再編やアイテムの拡充を図るとともに、新たなカルチャー発信拠点としてミニシアターを開業。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
改装規模(区画)	425	380	441	289	348
改装規模(面積・m²)	46,000	40,000	55,000	35,000	37,000
改装効果(営業収益前年度ゾーン対比・%)	118.6	116.6	112.7	126.7	116.2
改装内新規出店数	233	219	225	174	193

店舗別営業収益(テナント取扱高および取扱高前年度比※1)

新規開業物件の貢献はあったものの、既存店の競合影響などにより全店計は減収。

(百万円)

	2017年度	2018年度	前年度比
都心型店舗グループ	**149,549**	**151,415**	**101.2%**
札幌PARCO	13,421	13,200	98.4%
仙台PARCO	20,030	20,197	100.8%
池袋PARCO	28,458	28,134	98.9%
PARCO_ya	2,265	5,788	-
渋谷PARCO	1,138	1,413	124.2%
静岡PARCO	10,600	9,947	93.8%
名古屋PARCO	34,671	34,245	98.8%
広島PARCO	16,719	16,136	96.5%
福岡PARCO	22,243	22,350	100.5%
コミュニティ型店舗グループ	**99,901**	**95,185**	**95.3%**
宇都宮PARCO	3,061	2,113	69.0%
浦和PARCO	24,618	26,095	106.0%
新所沢PARCO	10,614	10,126	95.4%
津田沼PARCO	10,682	12,091	113.2%
ひばりが丘PARCO	8,162	7,071	86.6%
吉祥寺PARCO	9,619	9,668	100.5%
調布PARCO	18,576	17,994	96.9%
松本PARCO	7,278	6,016	82.7%
大津PARCO	2,297	-	-
熊本PARCO	4,989	4,007	80.3%
既存店計※2	**237,466**	**240,811**	**98.3%**
全店計	**249,451**	**246,600**	**98.9%**

※1 固定家賃テナント売上を含むテナント取扱高実績です。前年度比のもととなる前年値も同じ基準で集計しています。
※2 2017年度の既存店計は渋谷PARCO PART1、PART3、仙台PARCO2、大津PARCO、PARCO_yaの値を除いたものです。
2018年度の既存店計は大津PARCO、PARCO_yaの値を除いたものです。

専門店事業

営業収益：197億54百万円　営業損失：25百万円

株式会社ヌーヴ・エイ

URL www.neuve-a.com

リスク
- インバウンド需要の変化
- 人材確保の困難性
- 消費税増税

機会
- 価値観の多様化
- テクノロジーの進化

2018年度の成果

株式会社ヌーヴ・エイは、前期に対して店舗数が減少したことや、インバウンドに関わる環境や年末年始の需要などが変化したことにより、営業収益、営業利益ともに前期実績を下回りました。各事業ではオリジナル商品の開発、販売により収益向上に取り組んでいます。

2019年度のテーマ

2019年度は、既存事業の再強化に向けスクラップ＆ビルドを推進するほか、ショッピングセンター事業との協業による新業態開発など独自性の創出に貢献します。また、引き続きデジタル戦略のもと、顧客接点の拡大を目指しCRM強化を推進していきます。

高感度のセレクトショップを展開

TiCTAC（チックタック）腕時計専門店
セレクトからオリジナルまで、国内外から集めた秀逸ウオッチを品揃え

ROSEMARY（ローズマリー）化粧品／化粧雑貨専門店
女性のライフスタイルに合わせた商品提案で「キレイ」の可能性をトータルで実現

POKER FACE（ポーカーフェイス）眼鏡専門店
高品質でスタイリッシュなアイウェアを提案

COLLECTORS（コレクターズ）メンズ雑貨専門店
カジュアルからビジネスまで、ライフスタイル、シーンに合わせた独自の視点でセレクト

代表取締役社長
松崎（まつざき） 充広（みつひろ）

既存事業の強みとデジタル戦略、新規事業をあわせて活気ある第二創業を企図します。

小売業を取り巻く環境が激変する中、改めて当社の強みを言えば、「TiCTAC」をはじめとした差別性の高い雑貨専門店事業を複数持っていることです。全国各地の好立地に店舗を有し、編集力を強みに「雑貨」というライフスタイル消費財を提案してきました。今後はこのリアル店舗網とデジタル戦略（EC、オムニチャネル、CRM、情報発信）を融合。現在70万人のメンバーズに新規事業創出による新たな顧客層を加え、デジタルを活用して時間や空間に制約されない「顧客接点」を拡大します。事業の根幹である店舗はお客さまに足を運んでいただける「場」として、MD・サービスなどのコンテンツに磨きをかけていきます。

ヌーヴ・エイメンバーズアプリ
ヌーヴ・エイの全ブランド・オンラインストア
共通でお得にお買い物が楽しめるアプリ

「クロノトウキョウ」
独立時計師・浅岡肇さんがデザイン・設計する機械式時計。
TiCTAC独占販売ブランド

「THE WHITE SCREEN」
ヌーヴ・エイオリジナルブランド

「COMPLETE WORKS」
COLLECTORSオリジナル商品

総合空間事業

営業収益：：218億82百万円　営業利益：6億62百万円

株式会社パルコスペースシステムズ

URL www.parco-space.co.jp

リスク
- 人材不足
- 人件費・建設資材の高騰
- 新規出店の減少
- 工事景気の減衰
- ビルメンテナンス業界の自動化・無人化

機会
- ストックのリニューアル・リノベーション需要の継続
- インバウンド市場の拡大
- 第5世代移動通信システムの導入

2018年度の成果

株式会社パルコスペースシステムズは、外部クライアントからの大型工事や錦糸町PARCO開業に向けた新装工事受注、複数の新規施設からの業務受託により、営業収益、営業利益ともに前期実績を上回りました。

2019年度のテーマ

2019年度は、パルコや外部の受託案件で培ったノウハウ・技術を強みとし、施設運営部門と空間創造部門を両軸とした機能の集約を図り、外部商業施設におけるビル管理業務の複合受注体制を強化します。また、前期に引き続き、J. フロント リテイリンググループでの連携を含めて業容拡大を推進していきます。

サービス業務一覧

内装工事	内装監理	設備管理
警備	パーキング	ハウスキーピング
広告ビジュアル	インテリアデザイン	電気工事
照明・LED・省エネ	プロパティマネジメント	インフォメーション
清掃	バンケット	ディスプレイ・VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）

代表取締役社長
因泥（いんでい） 孝和（こうわ）

デジタライゼーションの先にあるアナログの価値を創造し、皆さまに心地よい空間を

施設運営と空間創造の両軸で、豊富な経験を積んだプロフェッショナル集団である私たちは、施設のライフサイクルにおけるすべてのフェーズで、総合力をもってサービスを提供し、ショップ・施設・不動産に深く寄り添い、オーナー視点でのお仕事を得意としています。

そして、約50年の間に蓄積してきたビッグデータを活用したデジタライゼーションにより、スマート化した施設運営と空間創造のご提案は、施設の価値向上はもちろん、訪れる皆さまに寛ぎや楽しみ、心地よさを感じていただき、そこから新しい出会いや発想が生まれる、そんなアナログソリューションを提供していきます。

空間設計・照明関連業務・一部施工協力
太宰府駅（西鉄太宰府線）

内装監理・空間設計・ディスプレイ装飾・照明設計・内装工事
小田急本厚木ミロード

空間設計・内装工事
TaKuSuRu（東京ドームシティ卓球場）

広告ビジュアルディレクション
セレクトコスメショップ「shop in」2018年春・初夏ビジュアル

その他の事業（株式会社パルコのエンタテインメント事業／株式会社パルコデジタルマーケティング）

営業収益：63億27百万円　営業損失：2億97百万円

株式会社パルコのエンタテインメント事業

URL www.parco-enta.com

リスク
- ヒット作品の反動
- テクノロジーの進化
- 消費税増税

機会
- 価値観の多様化
- モノからコトへ

2018年度の成果

株式会社パルコのエンタテインメント事業では、映像事業の新たな拠点となるミニシアター「シネクイント」「アップリンク吉祥寺パルコ」を開業したほか、演劇事業で三谷幸喜作・演出による『江戸は燃えているか』や、ももいろクローバーZ出演の『ドゥ・ユ・ワナ・ダンス?』などが好評を博したことで、営業収益は前期実績を上回りました。営業利益は、新拠点の開業経費などがあり、新たな取り組みによる原価増を吸収できず前期実績を下回りました。

ミニシアター「シネクイント」
2018年7月開業

2019年度のテーマ

2019年度は、渋谷PARCOの営業再開とともに、劇場ほか複数の情報発信拠点開発を計画しています。このほか、2018年度に開業した「シネクイント」「アップリンク吉祥寺パルコ」など当社の独自性のあるコンテンツ開発・情報発信拠点の強化により、PARCO店舗事業との相乗効果波及に向けて取り組んでいます。

当社プロデュース作品　撮影：阿部章仁
2018年9月24日（月）～2018年10月8日（月）
『ドゥ・ユ・ワナ・ダンス?』

映　画

2019年7月5日（金）　全国ロードショー

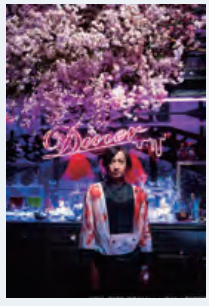
当社出資映画『Diner　ダイナー』

藤原竜也　玉城ティナ
窪田正孝　本郷奏多／武田真治　斎藤工　佐藤江梨子　金子ノブアキ
小栗旬／土屋アンナ／真矢ミキ／奥田瑛二
原作：平山夢明『ダイナー』（ポプラ社「ポプラ文庫」）
脚本：後藤ひろひと 杉山嘉一 蜷川実花　音楽：大沢伸一
監督：蜷川実花
配給：ワーナー・ブラザース映画

『ヘルタースケルター』が大ヒットを記録した蜷川実花監督が、初めての男性主演作品に挑んだノンストップエンターテインメント!

主人公を藤原竜也、ヒロインに玉城ティナほか豪華キャストが集結。

全員殺し屋のダイナー<食堂>を舞台に、新たな殺し合いが始まる――。極上の料理と死の狭間で、一瞬も目が離せない極彩色サスペンスが誕生!



©2019『Diner　ダイナー』製作委員会

映　画

ミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」

吉祥寺PARCO 地下2階に5スクリーン、計300席のミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」が2018年12月に開業しました。これまでアップリンクとは、共同で映画作品の配給宣伝をおこなってきましたが、映画館運営は初の共同事業になります。5つのスクリーンでは、世界の映画祭で話題の作品をはじめ、アート系作品、インディーズ作品など、「アップリンク渋谷」でお楽しみいただいている作品のほか、地域の方々にも楽しんでいただけるファミリー向け作品も上映し、多種多様な映画を通して、観客と世界とをつなげる窓となる映画館を目指します。

URL https://joji.uplink.co.jp/

吉祥寺PARCO 地下2階　撮影：村田雄彦
ミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」

演　劇

2019年8月9日(金)～9月1日(日)　会場:紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYA

当社プロデュース 『人形の家 Part2』

作:ルーカス・ナス　翻訳:常田景子　演出:栗山民也
出演:永作博美、山崎 一、那須 凜、梅沢昌代

ヘンリク・イプセン「人形の家」の"その後"を描いた、
新進気鋭の劇作家ルーカス・ナスの斬新な新作を栗山民也演出で日本初上演!

発表当時、"女性の自立"を描いた結末で社会の因習を打ち破る衝撃を与え、以降140年間に渡り世界中で上演され続けてきた近代古典の名作ヘンリク・イプセンの「人形の家」。本作はアメリカの新進気鋭の劇作家ルーカス・ナスが、大胆にもその続編という形で現代に提示した意欲的な新作です。演出は、「第26回読売演劇大賞」大賞および最優秀演出家賞に輝いた栗山民也。受賞作となった当社プロデュース「チルドレン」に続き、話題の翻訳劇にいち早く挑みます。主演は、実力派女優の永作博美です。どうぞご期待ください。

音　楽

CLUB QUATTRO(クラブクアトロ)

渋谷、名古屋(名古屋PARCO 東館8階)、梅田、広島(広島PARCO 本館10階)の4拠点でライブハウス「CLUB QUATTRO」を運営。

2019年は名古屋CLUB QUATTROが開店30周年を迎え、「NEW DIRECTION 2019」と銘打ち、6月から秋にかけてスペシャルなラインナップによる30周年記念ライブを継続的に開催。

URL www.club-quattro.com

出　版

『好日日記 季節のように生きる』

著者:森下典子　定価:本体1,500円(税別)
仕様:四六判

黒木華、樹木希林、多部未華子出演の大ヒット映画『日日是好日』の原作エッセイ待望の続編。

お茶を始めて40年、その後の著者は?「二十四節気」と「茶室」を味わいながら、自分と向き合う心の旅。

味わい深い著者のイラスト満載。

心ふるわす珠玉のエッセイ。

URL https://publishing.parco.jp

株式会社パルコデジタルマーケティング

URL www.parco-digital.co.jp

リスク　●リスクに対する恐怖心による消極志向

機会　●テクノロジーの進化と大衆化

2018年度の成果と課題

株式会社パルコデジタルマーケティングは、商業施設と専門店の多様なICT活用サービスを軸にクライアント開拓を強化したことにより、営業収益、営業利益ともに前期実績を上回りました。

2019年度のテーマ

2019年度は、中核事業である商業施設と専門店向けの複合的なデジタルサービスを強化し、外部クライアントの開発により事業の拡大を推進していきます。

商業施設に必要なグループウェア機能とWebサイト管理機能を一体化した新サービス「PICTONA(ピクトナ)」

代表取締役社長
守永 史朗(もりなが しろう)

新しい時代のリアル商業を私たちが創る

私たちは、商業施設や専門店を支えるデジタル活用のお手伝いをしています。2019年1月より、商業施設におけるカスタマーとのコミュニケーション、テナントとのコミュニケーションの2つの課題を1つのインターフェイスで解決する新サービス「PICTONA(ピクトナ)」を開発し、提供をスタートさせました。また、店頭での顧客接点を拡大するデジタルサイネージや、マーケティングツールなど、店頭におけるデジタル活用の企画立案からコンテンツ制作、運用までサポートしています。リアル商業で働くスタッフの声に耳を傾け、地に足の着いたデジタルサービスを提供する企業として、リアルな商業で楽しまれるお客さまとそこで働くすべての皆さまに貢献していきます。

パルコは創業以来、単に物を売るだけではなく、楽しい時間の過ごし方や新しい生活の楽しさなどをプロデュースし、提案する情報発信基地となって独自の文化を生み出す取り組みをしてきました。それが企業ブランドの向上やショッピングセンター「PARCO」の差別化に大切な役割を果たしています。

シーズンキャンペーン広告

「PARCO 2018AW」「PARCO 2019SS」

URL www.parco.jp/style/

2018年のシーズンキャンペーンから、日本の若手クリエイターを起用し、若い才能が集い共作することにより、新しい広告表現の形を生み出すことを目指しており、その制作過程では「インキュベーション」「新しいものへのチャレンジ」といったこれまでに培ってきた企業姿勢を表現しています。「PARCO 2018AW」では、写真家の嶌村吉祥丸や映像作家の山田健人ら20代を中心とした若手クリエイティブチームを起用しました。本キャンペーン映像は、「第22回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦作品に選出されるなど、若手クリエイターの活躍の場にもなっています。「PARCO 2019SS」でショートムービーの監督・脚本を手掛けたのは、学生時代の卒業制作映画『溶ける』が第70回カンヌ国際映画祭シネフォンダシオン部門に選出され、同映画祭に日本史上最年少で正式出品した経歴を持つ気鋭映画監督・井樫彩。ムービーの主演およびグラフィックのモデルには、女優の桜井ユキ、アートディレクターには、瑞々しい感性を活かしデザイン・イラストレーションの分野で活躍する脇田あすかを起用。ムービーのテーマに独自の解釈を加え、グラフィックで表現しています。

「PARCO 2018AW」ポスター

「PARCO 2019SS」ポスター

新しい才能の発掘・応援をする コーポレートメッセージ

「SPECIAL IN YOU.」

URL www.parco.co.jp/specialinyou/

2010年にスタートしたコーポレートメッセージ「LOVE HUMAN.」の想いを引き継ぎ、才能を発掘・応援するインキュベーション活動に、より強くフォーカスをあてるために、2014年より新コーポレートメッセージ「SPECIAL IN YOU.」をスタートしています。第11弾では、21世紀を代表する世界的な女性シンガーソングライター兼ギタリストであり、クリエイターとしての尊敬を集めるミュージシャン「St.Vincent（セイント・ヴィンセント）」を起用。第12弾では、シンガーソングライター「大石昌良（おおいし まさよし）」を起用しています。

第11弾 2018／君も、特別。
St.Vincent編

第12弾 2019／君も、特別。
大石昌良編

カルチャー発信拠点アートスペース

「GALLERY X　BY PARCO」

URL https://art.parco.jp

2016年12月にオープンした「GALLERY X　BY PARCO」は、アート、カルチャー、音楽、ファッション、アニメなど幅広いジャンルのカルチャーを渋谷の街に発信しています。2018年9月には、SNSを中心に大きな反響を巻き起こし、話題となった人気ドラマ「おっさんずラブ」の初となる公式展覧会『おっさんずラブ展～君に会えてよかった。～』を株式会社テレビ朝日と共同開催しました。実際にドラマの撮影で使用された小道具、数々の名シーンの場面写真の展示など、ドラマの世界観とその熱量を存分に味わえる空間を提供。会場には展覧会ならではの限定オリジナルグッズが多数登場しました。

ストリートファッション・マーケティング

「ACROSS（アクロス）」

URL www.web-across.com

「ACROSS」は、東京の若者とファッション・カルチャーを研究するシンクタンク部門が発信するメディアです。1980年8月からスタートした「定点観測」をベースに、現在、社内外からの依頼を受け、国内外でさまざまなフィールドリサーチをおこなっています。

また、2017年6月より、グーグル社の非営利組織Google Cultural Instituteのプロジェクト「Google Arts & Culture:We Wear Culture」に参画し、約40年分のまちや風俗の記録を発表しています。

Google Arts & Culture:We Wear Culture

URL https://artsandculture.google.com/

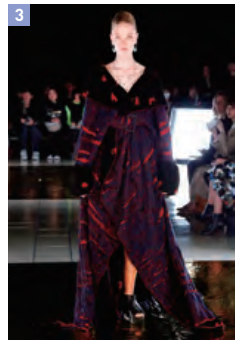
若手デザイナーやアーティストの活動を支援

若手デザイナーやアーティストの発掘とインキュベーションを目的に、さまざまな活動の支援をおこない、新たな文化の創造を目指しています。こうした活動を通して成長したブランドや、共感軸で広がったネットワークは企業ブランドの向上につながっています。

「FASHION PORT NEW EAST（ファッション ポート ニュー イースト）」

「若手デザイナーの発掘と支援」を目的に、アマゾンファッションウィーク東京で開催された「FASHION PORT NEW EAST」の2019年春夏コレクションと2019年秋冬コレクションを支援しました。本取り組みは、2015年10月から年2回、4年にわたり継続支援しており、若手デザイナーたちが自身のクリエイションを発表することによって、次なる成長機会を得ることができるとともに、次代を担う新しい才能として日本のファッション業界の新たな力になってほしいと考えています。また、2020年春夏コレクションからは名称、形式を刷新し、パワーアップした形でバックアップするプロジェクトを予定しています。

2019年秋冬コレクション参加ブランド



1 SHUSHU/TONG（シュシュトン）
2 kotohayokozawa（コトハヨコザワ）
3 malamute（マラミュート）

参加デザイナーたちと
中央左がバンタン石川代表取締役、
中央右が当社 溝口執行役（マーケットクリエイション部担当）

「Asia Fashion Collection（アジア ファッション コレクション）」

パルコとバンタンが共催し、アジアの若手デザイナーを発掘・インキュベートする取り組みをおこなっています。本コレクションは、日本、韓国、台湾、タイの若手デザイナーたちが、ニューヨーク・ファッションウィークでのランウェイデビューや、Taipei IN Style（タイペイ・イン・スタイル）などの国際的な展示会への出場権と、パルコでのコレクション展示を賭けて競います。2019年2月におこなわれたニューヨークステージでは、アジア各国の若手デザイナー7ブランドがファッションショーをおこない、世界中のファッション関係者約350名が来場しました。今後もアジアの若手デザイナーを発掘・インキュベートすることでアジアのファッション産業の発展を目指します。

「DANCE DANCE ASIA—Crossing the Movements（ダンス・ダンス・アジア～クロッシング・ザ・ムーヴメンツ～）」

2014年から独立行政法人国際交流基金によってASEAN域内との文化スポーツ交流や日本語普及を目的に設立された「アジアセンター」と連携し、独自の発展を遂げるアジアンカルチャーを背景に、ストリートダンスを通じてパフォーミングアーツの可能性を追求しています。4年目を迎えた2018年3月には、フィリピンからVince Mendoza（ヴィンス・メンドーザ）、日本から黄帝心仙人（こうていせんにん）、インドネシアからHamdi Fabas（ハムディ・ファバス）の3人を演出・振付家として起用、多国籍で構成される気鋭のダンサーたちとともに、多彩な表現力と卓越したテクニック、音楽が融合された3作品を披露しました。2019年7月の開催も決定、日本および東南アジア6ヵ国のアーティストとダンサー総勢48名が卓越したテクニックと表現力、音楽が融合された5作品を披露します。

© 上山陽介/ DANCE DANCE ASIA東京公演2018
『宇宙』振付・演出 黄帝心仙人

Shibuya StreetDance Week 2018の様子

「Shibuya StreetDance Week」

2015年からスタートした国内最大規模のストリートダンスの祭典「Shibuya StreetDance Week」の実行委員会事務局を務めています。「Shibuya StreetDance Week」は、幅広い層に支持され新しい芸術文化としてのストリートダンスの確立と、ストリートダンサーの聖地である渋谷から世界へ良質なエンタテインメントを発信し、渋谷をより活力にあふれた街にすることを目的としています。4回目を迎えた2018年11月には、渋谷エリアのダンススタジオの各種コラボレーションや、渋谷の商業施設前でダンスパフォーマンスを展開しました。

価値創造の成果　2018年度　表彰・受賞一覧

パルコグループ

企業サイトが各種賞を受賞

大和インベスター・リレーションズによる「2018年インターネットIR表彰」において「優秀賞」を受賞しました。また日興アイ・アールによる「2018年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」においては、総合ランキングで「最優秀賞」を、ゴメス・コンサルティングによる「Gomez IRサイトランキング2018」においては、小売業業種別「第3位」、総合ランキング「銀賞」を受賞しました。

「2018年インターネットIR表彰」表彰式
左から大和インベスター・リレーションズ長谷川代表取締役社長、当社 阿部常務執行役、青山学院大学大学院北川教授

「IT経営注目企業」に3年連続で選定

攻めのIT経営に関して注目すべき取り組みをおこなっている企業として、「IT経営注目企業※」に3年連続で選定されました。今回は、クラウドファンディングサービス「BOOSTER」において支援した顧客が開発する商品やサービスをリアル店舗で販売するという発想がユニークであること、また、店舗の売上向上施策として、ロボットやスマートスピーカー、VRを活用している姿勢が収益性や成長性に寄与するものと評価されました。

※「IT経営注目企業」は、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「攻めのIT経営銘柄」の選定において、特定のテーマで先進的な取り組みを実施する「注目企業」として、経済産業省が選定するものです。

「IR向上企業」に選定

一般社団法人 日本IR協議会が主催する「IR優良企業賞2018」において、日本IR協議会設立25周年を記念して設けられた日本IR協議会設立25周年記念表彰「IR向上企業」に選定されました。

ショッピングセンター事業

「情報技術活用賞」「平成記念特別賞」を受賞

繊研新聞社が主催するディベロッパーとテナントからのアンケートをもとに選定される「2018年 度(第21回) ディベ ロッパー&テナント大賞」にて、PARCO_yaが「情報技術活用賞」、池袋PARCOが「テナントとともに売り上げを持続し地域共生で貢献した」平成記念特別賞を受賞しました。

左がPARCO_ya 栗原店長、
右が池袋PARCO 植野店長

「第22回文化庁メディア芸術祭」審査委員会推薦作品に選出

「第22回文化庁メディア芸術祭」のエンターテインメント部門の審査委員会推薦作品に、写真家の嶌村吉祥丸や映像作家の山田健人ら20代を中心とした若手クリエイティブチームを起用した「PARCO 2018AW」のキャンペーン映像が選出されました。

「PARCO 2018AW」
ポスター

「PARCO 2018AW」キャンペーン映像

「第3回アニものづくりAWARD」銅賞を受賞

アニメやマンガ、キャラクターとのコラボ商品、広告プロモーションを表彰する「第3回アニものづくりAWARD」のインターナショナル部門で、2018年8月よりタイで開催したコラボレーションカフェ『Detective Conan Cafe in Bangkok(名探偵コナンカフェインバンコク)』が銅賞を受賞しました。

『Detective Conan Cafe in Bangkok(名探偵コナンカフェインバンコク)』
©GA/S,Y,T
©2018 GA/DCC

エンタテインメント事業部

パルコのエンタテインメント事業部が製作した演劇作品、買付・配給した映画作品が各種賞を受賞しました。

演劇

2018年1月上演「アンチゴーヌ」

アンチゴーヌ役 蒼井優
第69回芸術選奨演劇部門 新人賞
第26回読売演劇大賞 最優秀女優賞
第五十三回紀伊國屋演劇賞 個人賞

2018年9月上演「チルドレン」

演出 栗山民也
第26回読売演劇大賞 大賞・最優秀演出家賞
ローズ役 若村麻由美
第44回菊田一夫演劇賞 演劇賞
照明 小笠原純
第26回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞
音響 井上正弘
第26回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞

2018年11月上演「豊饒の海」

脚本 長田育恵
第五十三回紀伊國屋演劇賞 個人賞
音響 井上正弘
第26回読売演劇大賞 優秀スタッフ賞

『アンチゴーヌ』

『チルドレン』

『豊饒の海』

映画

買付・配給作品『セラヴィ!』
フランス映画祭2018 エールフランス観客賞

製作委員会参加作品『日日是好日』
第43回報知映画賞 監督賞、助演女優賞

買付・配給作品
『セラヴィ!』

製作委員会参加作品
『日日是好日』

ステークホルダーからのメッセージ

コラージュアーティスト、グラフィックデザイナー、
アートディレクター
河村 康輔（かわむら こうすけ） 様

渋谷PARCO建替え工事の仮囲いに出現した パブリックアートウォール「AKIRA ART WALL」

2019年11月開業までの約3年におよぶ渋谷PARCO建替え工事の期間、街の賑わい創出のため、大友克洋氏の漫画作品『AKIRA』のARTを使い工事に伴う仮囲いに美術演出をおこないました。「AKIRA ART WALL」をコラージュデザインしたのは河村康輔氏。河村氏は吉祥寺PARCOの地下2階にオープンしたミニシアター「アップリンク吉祥寺パルコ」でも作品をエスカレーター横に提供するなどパルコともさまざまな取り組みをしてきたほか、アート、プロダクツ、商業での空間演出、作品提供などワールドワイドに活動の場を広げている注目のアーティストです。「AKIRA ART WALL」とは何だったのか改めて聞きました。

「最初からこれは確実になにか新しいことが生まれるなと。今でこそ仮囲いへの演出って当たり前になってきましたけど、最初は本当に演出自体ができるのか?最終形態も見えにくい仕事でしたね(笑)。通常の作品と違って撤去されるのが前提のものを作るってことが新しくて。ターゲットも広告のように特定のものがあるわけではなく、強いて言うならば相手は街。対人類。対地球。」

今回の取り組みは、2019年6月から7月に池袋PARCOのPARCO MUSEUM「KOSUKE KAWAMURA -ARCHIVE-」という集大成的な個展の開催、そして次の企画へ。

「新しい渋谷PARCOはすべてをアップデートしたものを見せてくれることに期待しています。新しくなっても変わらずカッコイイ作家たちをフックしてくれる場であってほしいですね。」

第1弾アート
2017年10月17日(火)～2018年5月15日(火)
©MASH・ROOM/KODANSHA
©Kosuke Kawamura
撮影:TAKAMURADAISUKE

第2弾アート
2018年5月16日(水)～2019年2月27日(水)
©MASH・ROOM/KODANSHA
©Kosuke Kawamura
撮影:TAKAMURADAISUKE

第3弾新アート
2019年2月28日(木)～2019年初夏
©MASH・ROOM/KODANSHA ©Kosuke Kawamura

「AKIRA ART WALL」が2018年度グッドデザイン賞を受賞

渋谷PARCOの建替え工事に伴う仮囲いをアートウォールとして活用した「AKIRA ART WALL」が2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。日本を代表する漫画家・映画監督である大友克洋氏の代表作である『AKIRA』をコラージュアーティストの河村康輔氏と共同で、工事期間中も公園通り・スペイン坂エリアの賑わい創出と来街者増加に貢献するため、2017年10月から仮囲いを美術演出してきました。再開発が進む渋谷の街との親和性もあり、国内外で話題のスポットとして多くの方に訪れていただいており、今回の受賞につながりました。2019年2月からは過去最大の大きさでアート・ウォール・プロジェクト第3章に切り替え、渋谷がアート・カルチャーの発火点であることを世界に向けて発信しています。

グッドデザイン賞受賞の様子